

簡易版 TP (ティーチング・ポートフォリオ)

| | |
|-------|-------------|
| 氏名 | 松岡 律 |
| 所属機関名 | 教育学部 初等教育学科 |
| 職位 | 教授 |
| 在籍年 | 11 |

教育の責任

「教育社会学」「生徒・進路指導論」など、教育学系の主要専門科目を担当している。特に教員を目指す学生が基本的に身につけておくべき態度や批判的思考力を高め、教員として（社会人として）世の中に貢献できる人材を一人でも多く養成することが責務であると考えている。

教育の理念

学校教員の職業的使命感・倫理観が大きく問われる事案が多発する現代において、高い社会的使命感を備えた教員の養成が強く求められている。そのような教員養成を実現するためには、自分自身を客観的に省察できる反省的思考力の育成が欠かせないと思う。反省的思考力を高めるため、学生には、関心を持ったトピックスについて、教わったことを無批判に受け容れるのではなく、自ら文献を読み・調べ、自分自身の見解を導いて理解を深める習慣を身につけて欲しいと考えている。

教育の方法・方針

- ①集中できる学修空間の実現。
- ②受講者の知的好奇心を刺激する授業内容の工夫。
- ③授業を通じて卒業後に役立つ情報提供。
- ④考えることの大切さを伝える。
- ⑤リアクションレポートを活用した授業毎の質疑の実施。

教育の成果

毎年、概ね高い授業評価を得ている。受講者の自由記述には「授業内容がリアルで分かりやすい」、「座学にも関わらず受講が苦にならない」という反応もみられる。また卒業生から「授業で予め聞いていたおかげで上手く対応できた」というフィードバックも得られている。

今後の目標

教育社会学は、教育学部の授業の中では学生にとって比較的学修ハードルの高い領域だが、批判的思考力を身につける格好の訓練フィールドになる。これは、本学が推進する IB の根幹にかかわるものであり、より多くの学生にチャレンジしてもらいたいと考える。学年によっては、授業の受け止め方（理解度）に少なからぬ差があるため、多様化する学生のより多くに教育の意図がきちんと伝わるように工夫したい。

根拠資料

シラバス、レポート課題、試験問題、教材（配布資料、パワーポイント資料など）、振り返りシート（リアクションレポート）、授業アンケート結果